

いこいの家通信

こども杜 いこいの家

静岡市葵区城東町二四番一号 電話二四九・三一九〇

令和7年10月1日
No. 518

お母さんの詩

「楽しいならそれでよし」

Gくん(5歳)のお母さん



令和2年4月1日に376gで息子は産まれました。「この小ささで今後、どうなっていくの？」という疑問しかありませんでした。

NICUに入院となり、コロナ禍もあり、他のお母さんと接する機会もなく、面会へ通う日々。手のひらに収まってしまうほど小さな息子はたくさんの方に繋がられながらも、一生懸命に生きてくれていました。

半年間の入院生活を終えてやっと家に来る事ができました。小さく産まれたので通院やリハビリに通うなかで、済生会療育センター令和を紹介されました。息子の成長に不安があったため、やれる事はやってみようと思いOTに通い始めました。担当の先生や保健師さんからいこいの家の親子教室について聞き、同年代の子達と接する機会もなかったので、行ってみる事にしました。初めての子育て

で何も分からない私にとっても他のお母さんと接する事で勉強になる事もあり、息子もとても楽しそうに通っていました。

保育園への入園を考えはじめた頃に親子教室の先生より「入園を希望しますか？」と提案され、息子の親子教室での様子やいこいの家の雰囲気を見て、入園する事を決めました。

園での生活で不安だった事は、イスに座っていられるか、食事ができるか、発語がない事によるコミュニケーションの取りづらさなどがありました。しかし、先生方の手厚いサポートや周りのお友達の影響もあり、私の不安はふつとびました！(笑)

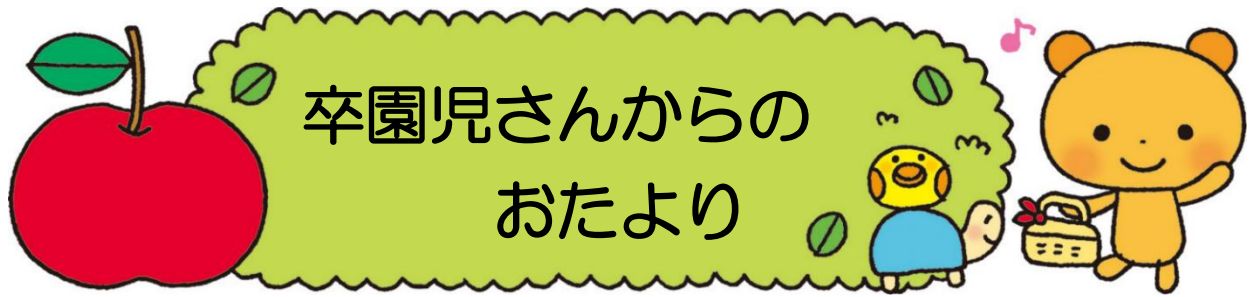
今では、お友達もでき、給食も完食するようになり、毎日の報告をしてくれる程言葉も増えました。やはり、同年代の子たちに比べ成長スピードはゆっくりではあります。ですが、日に日に成長していく姿は遅く思います。

この2年半でびっくりするほど成長し、今後はどうなっていくの？が不安より楽しみでいっぱいになっていきました。毎日、楽し

く笑ってすごせていて、いこいさんには感謝でいっぱいです。息子はいこいさんが大好きですが、私もずっと通っていたいくらい大好きです！笑

卒園まであと少し…最後の最後まで楽しく毎日を送っていました。と思っています。





『個性の花 誇らしく』

望月隆太郎さん（21 歳）のお母さん



いこいの家の皆さん、こんにちは。隆太郎が卒園してから 15 年が経ち 21 歳になりました。

ダウン症と重度の心疾患でオペを繰り返しましたが、今では風邪すらひかない丈夫な身体になりました。

持ち前の愛嬌と人懐っこさで清水特支では充実した 12 年間を過ごす事ができました。高等部を卒業した今は、就労継続支援 B 型事業所「みすず」に通所しています。高等部 2 年までに 3 か所の事業所で実習し、3 年で行う実習が実質「就職試験」になるので、3 か所のうち、どこが一番隆に合っているのか、相当悩みました。最終的には隆が「みすずさん」と決めました。決め手が何だったのかはわかりませんが、相性の良さ？を肌で感じたのでしょうか(笑)

みすずさんは、ハンガー、網戸の車輪、車の部品等の組立、袋詰め等様々な種類の作業に挑戦させてくれます。難しそうな時は、その動作を補助するための道具や工具を次々出して試させて、隆でもできる方法を考えてくれます。その支援体制をとっても心強く感じ、母はそこが決め手となりました。

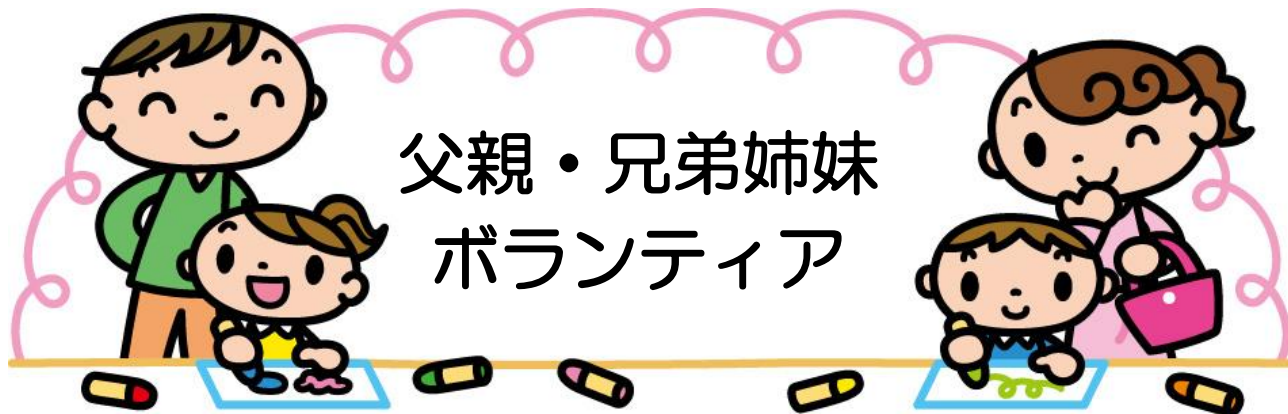
そして無事に就職試験をクリアし、みすずさんでお世話になる事になりました。

一年目。自席に着く事ができず離席が目立ち、立ち入らないルールの倉庫に強い執着があり勝手に入ったり問題行動が多かったです。名前を覚えていない先輩利用者さんに肩を叩いて呼びかける行動がトラブルになったりと、同世代だけの学校生活の対人関係と、親以上年の離れた利用者さんもある事業所では、今までのコミュニケーションスキルが通用しない場面もあり、少し苦労していました。

二年目。落ち着いて自席に座り作業をこなす姿がありました。母が来ている事に気づいても気を逸らす事なく黙々と作業を続けていました。一体、隆の中で何が起きたのでしょうか？清水特支の後輩が入り、急に先輩意識が芽生えたのでしょうか？(笑)数か月前とは別人の隆がいました。一年の間に気の合う仲間ができた事も良かったのかもしれません。大人になっても隆にはまだまだ伸び代があるんだなぁと教えられました。そして何より隆の素晴らしいところは毎日元気に事業所に通っていることです。休む事なく通える事も立派な才能ですよ。

今の隆の楽しみは何と言ってもディズニーランド（シーよりランド派！！推しはミニーちゃん♡）「お給料貯めてディズニー行く」が口癖です。先日、平日に事業所閉所日があったので、隆と母とで二人ディズニーしてきました。パーク内では、すっかり仕切ってアテンドしてくれる、頼もしい「D オタ」です。

いこいさん時代はまだ固い蕾でしたが、清水特支、放デイ、みすずさん。多くの方から注いでもらった愛情で、今、隆の個性溢れる花、誇らしく咲かせています。



いこいの家では、父親・きょうだいボランティアを実施しています。普段なかなか園に来られないお父さんやきょうだいさんに園に来て頂き、園児と一緒に遊んだり、食事・排泄・着替えなど身近面のお手伝いをしたりする事で、園での様子や子ども達の事をより深く知っていただく機会となればと開催しています。今年度は、8月18日(月)～22(金)に開催されました。参加されたお父さんからの感想を紹介します。



今回も父親ボランティアに参加させて頂き、ありがとうございました。Gのいこいの家での様子は連絡帳で確認していましたが、特に食事に関しては半信半疑でした。今回は久しぶりに給食までいることができたので苦手なものにチャレンジできるか楽しみでした。主に野菜が苦手で、家では絶対に自分から口に入れることはないのですがボランティアの時には自分から頑張って食べていました。やはり親がいると少し甘えが出てしまうところがありますが、活動の時間も他のお友達と積極的に関わっている姿を見て成長を感じる事ができました。

(G君のお父さん)



ボランティア活動に参加させて頂きありがとうございました。“1日の様子”を拝見するといこいの家での楽しそうな様子が記載されており、いつも直接見てみたいと思っておりました。今回、初めてボランティアに参加し先生方が記載頂いている通りお友達と無邪気に遊び、笑い合っている姿、先生方と嬉しそうにコミュニケーションを取っている姿、参加した時間どのシーンを見ても笑顔が絶えない、いこいの家での時間でした。息子が成長していける場でもあることながら親に対しても知ること、見ることができる機会があることは、非常に感謝致しております。次回、また参加できることがありましたら可能な限りボランティア活動に参加したいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(H君のお父さん)

祖父母保育参観

9月15日の敬老の日になみ、祖父母参観を実施しました。今年は、9月8日（月）～19日（金）の期間に実施し、お孫さんのがんばっている姿をおじいちゃん、おばあちゃんに見ていただきました。大好きなおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に遊んだり、給食の様子を見ていただき、こども達の嬉しそうな笑顔がたくさんみられました。



だいすきなじーじとふれあい遊び

いっしょにスライムをつくったよ♪



じゃんけんれっしゃ～♪



給食もひとりで食べられるよ！



今年もいこいの家まつりを開催予定です！

日時：2025年11月22日（土）10時から14時

詳細は次号以降、ホームページやInstagramにてお知らせいたします。
ぜひ遊びにきてください！